

平成29年度
学校だより
NO.11



甲府市立大國小学校

大國の子

H30. 2. 23 発行 校長：保坂和彦

— 学校教育目標 —

「心豊かで、知性に富み、たくましく主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

○思いやりの心を持ち、助け合う子ども

○よく考え、自ら学ぶ子ども

○心身ともに健康で、進んで行動する子ども

一年間のしめくくり！

朝夕の冷え込みも和らぎ、春の兆しを感じられることとなりました。いよいよ弥生3月、一年間をしめくくる月に入ってまいります。

さて、3月20日（火）には、第29回卒業証書授与式が行われ、6年生86名が大國小学校を巣立っていきます。また、在校生は23日（金）の修了式にて、本年度の教育活動を終えることとなります。

新しい出発への準備、新しい学年に向けての準備をこの3月に行って、夢や希望、目標をもって4月を迎えてほしいと願っています。

保護者の皆さま、地域の方々には本校の様々な教育活動に多大なご理解とご支援を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。



授業参観・P学年総会

2月14日（水）の5、6年生、16日（金）の3、4年生、そして19日（月）の1、2年生と3日間ですべての学年の授業参観とPTA学年総会が終わりました。1年生のこんなことができるようになったよの発表、2年生の生活科、3年生の食育授業、4年生の二分の一成人式、5年生の総合的な学習の時間、6年生の道徳と社会、体育授業とそれぞれの学年で、1年間の締めくくりの授業をご覧いただけたことと思います。また、1、3、5年生は来年度のPTA役員を決めることもできました。短い時間の中でたくさんの内容をこなしていただき、感謝しております。ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

なでしこ賞・新しい時代を担う人づくり。

2月2日（金）は、甲府市教育委員会の新しい時代を担う人づくり基金事業の「なでしこ賞」の表彰式が行われました。このなでしこ賞は、「思い遣る心」をもった個人や団体に贈られるもので、他の模範となる行いをした児童・生徒を奨励する「善行賞」と友達や下級生を思い遣る子を表彰する「友達賞」があります。具体的には、困っている人を助けたり、進んで地域活動に参加したり、社会福祉に奉仕したりし、頑張っている子どもを表彰するものです。大國小は、6年生の4人の仲間たちで構成する『仲良しフラワーズ』が「善行賞」を受賞しました。表彰式当日は、中村智貴さんがグループを代表して表彰式に参加しました。立派な態度で市長さんから賞状をいただくことができました。【他のメンバー】大矢翔さん 中岡想太郎さん 長倉みすずさん



後期児童総会 ●29年度のまとめ●

15日（木）は、後期児童総会が行われました。この一年間の児童会活動について、スローガンや主な活動から振り返ることができました。また、日々活動している委員会活動についても、しっかりと反省をすることができました。4月に目標を立てて、1年間活動してみて、その成果や課題をきちんと振り返ることが、来年度以降につないでいくための大切な過程だと思います。約1時間の話し合いでしたが、どの学級も、意見や質問を積極的に出し、質の高い総会になったと思います。また、総会の中では、来年度の児童会役員への引継ぎ式も行われました。新旧の児童会長が、それぞれの思いを述べ、しっかりと引き継ぐことができました。



青少年赤十字メンバー表彰式

本校では、平成18年5月に青少年赤十字に加盟以来、10年間に及ぶ「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標に向けて特別活動の中に位置付けて推進してきました。特に、本年度は、態度目標の「気づき」「考え」「実行する」を縦割り活動等の中でその具現化に取り組んでいるところです。また、本年度は児童会役員を中心に、リーダー養成トレーニングセンターにも6名の子が参加しました。本年度の取組で全校児童一人一人の中にも、青少年赤十字の精神が強く根付いてきていると思われます。この精神を来年度以降も、さらに大切にしていけるよう、活動の輪や幅を広げていきたいと考えています。

8日（木）には、本年度の活動の頑張りに対して、5、6年生の6名の子どもたちが青少年赤十字メンバー表彰を受けることができました。（表彰式は1名が出席）6年生には卒業後も、赤十字の精神を持ち続け、今後もいろいろな場面で活動して欲しいと願っています。

【受賞者】 塚田奈那さん 田中 惺さん 中原翔太さん 土屋愛来さん 保坂珠羅さん
林 遥紀さん

アプリ開発体験から

9日の山日新聞にも掲載されましたが、5年生の子どもたちが学級ごとに、中小河原町の「アトリエサテライト甲府」で人型ロボット「ペッパー」を動かすアプリ開発を体験しました。新指導要領では、情報教育の一環として、プログラミングが位置付けられました。子どもたちの豊かな発想から、ペッパー君のようなロボットが、これからの時代、いろいろな場所で人間の役に立つ時代が到来することと思います。大國小の子どもたちの中からも、こういった仕事に従事する子もいることと思います。今回の体験は、とてもよかったとどの子も感想を漏らしていました。

